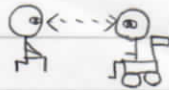


高齢者と関わる

○ 高齢者と関わるうえで大切なこと

- ・ 1人ひとり 自分の意思をしっかり持っていらっしやるということを頭に入れておく。
- ・ あいさつはきちんとして!! 笑顔で!!
- ・ 自分が誰で、どこから来たのかを説明する(～ 中学校から来ました〇〇です。)
- ・ 利用者の方の個人名など、個人情報には決して施設以外で話してはいけません。
- ・ もしも、「ビニに住んでるの?」など聞かされても、だいたいど、明確に答えてはいけません。
- ・ 相手の方と目線を合わせるのが大切です。車いすの方も多いと思います、その時はケレレビがおもしろい!!



床に膝がつかないようにする!!

○ コミュニケーションを円滑にする

- ・ あたり前の事ですが、相手が嫌がるような事は言わない
一言一言 ちゃんと話を
- ・ 話す時、相手の名前を名前と呼ぶ (名前と呼ばれる方が嬉しい)
- ・ 言葉使いも丁寧に、
- ・ 高齢者だからといって皆さる耳が遠い訳ではありません
だから、耳元で大きな声で話すと、かえって雑音にしか
聞かれません。そこで大切なのが 明るく、よくと少し低めの
声で話すと、聞きやすいです。

○ 認知症の方と関わり事があったら

- ・ 認知症だからといって全てを覚えていないわけではありません
あるきっかけで思い出したりある方もいらっしゃいます
- ・ 認知症の方は時に同じ内容の事を繰り返して話さる事がありますが
本人は初めて その話をしているのです。だから「さっきも同じ事話しましたよ」
など言ってしまうとその方を悩ましてしまう可能性があります。
そのような場合には うちから初めて その話を聞かかのように聞いてあげるとよいです
- ・ 認知症の方と会話は 必ずだけ長くは、短くなく わかりやすい言葉を
用いるとよいでしょう。

○ コミュニケーションを図っている時に困ったら

- もし会話が続かない、どんなふうに思った時「今日の昼食は〇〇ですな」「朝食は何を食べましたか」など「お孫さんはいらしゃいますか」などあらかじめ質問を用意しておくこと。

- 会話をうまく続ける方法として、連想すること。

〈例〉
 自分 「朝食は何を食べましたか？」
 相手 「食パンと目玉焼きとコーヒー」
 自分 「朝食はよくパンを食べられるのですか？」
 相手 「はい。」
 自分 「私もよくパンを食べます」
 相手 「そうなの」
 自分 「好きな食べ物は何ですか？」

このように関連づけていくと、会話しやすいです。

○ もしも困った事や気になる事、嫌な事があった時、

- その時は必ず、近くにいる職員の方にすぐ相談してください

利用者の方の様子がケレダメおかしいなと、思った時もすぐに言ってください
 という事で、早い措置が取れます。

施設の方の話をよく聞き行動してください。

高齢者の方はとても体調などの変化が大きいです。

利用者の方に「〇〇してね」と何か頼んでも、その時は「私は体調不良にきているものなので職員の方を呼ばますね。」と勝手にするのではなし、しっかり出来ない理由をのべて職員の方に伝えてください。

高齢者施設での体調不良はとても貴重なもので
 学んだ事などは、必ず役に立ちます。